

技術報告②

鉄構部門

令和5年度農林水産省との意見交換会

日時：令和6年2月7日

場所：農業土木会館

参加者

【農林水産省設計課施工企画調整室】

| | |
|----------|-------|
| 室長 | 土屋 恒久 |
| 補佐（積算基準） | 上條 剛 |
| 係長（積算企画） | 西島 太志 |
| 係長（機械積算） | 丹野 和弥 |

【鉄構部門】

| | |
|-----------------|-------|
| 部会長(株)丸島アクアシステム | 田中 秀明 |
| (株)IHIインフラ建設 | 阪田 成広 |
| 開成工業(株) | 松元 晃 |
| 開成工業(株) | 能登 啓介 |
| コスモ工機(株) | 大平 正三 |
| JFEエンジニアリング(株) | 佐藤 具揮 |

| | |
|--------------|-------|
| 西田鉄工(株) | 圓山 満久 |
| 西田鉄工(株) | 福田 智之 |
| 日東河川工業(株) | 井上 啓 |
| 日立造船(株) | 鈴木 尚登 |
| 日立造船(株) | 山本 哲平 |
| 豊国工業(株) | 堀内 正之 |
| 豊国工業(株) | 金光 敬史 |
| 豊国工業(株) | 新畑 和久 |
| (株)丸島アクアシステム | 河合 洋介 |
| (株)丸島アクアシステム | 渡邊 秀典 |

【事務局】

| | |
|------|-------|
| 事務局長 | 山田 耕士 |
| 総務部長 | 箕輪 均 |
| 企画部長 | 野村 栄作 |



1. 鉄構部会長挨拶

平素より、鉄構部会の諸活動にご理解ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。鉄構部門の会員は現在16社だが、鉄構工事の計画・実施や、完成後の構造物の維持管理にさまざまな形で関わっており、発注者は無論のこと、維持管理を担う市町村や土地改良団体の要望にも沿いつつ、民間の立場から農業農村整備の推進に向け努力を続けている。ここでは、農政局直轄工事の主に元請企業が抱える諸課題について、現下の状況の中で整理したので、業界事情や要望・提案についてご理解をお願いします。平成6年度についても、十分な予算を確保いただき感謝申し上げます。適切な工事実施に努力をしていく所存であり、引き続きご指導を賜りたい。



鉄構部会長 田中

2. 施工企画調整室長挨拶

能登半島地震の災害復旧にご協力いただき感謝申し上げます。現場の復旧復興について、まずはライフラインである集落排水の調査を急いでいるところ。石川県のみならず、富山県も被災しており、今後一層の協力をお願いしたい。政府一体となって復旧復興に取り組んでまいりたい。鉄構部会の課題については、従来からこのような意見交換を通じ、さまざまな改善に取り組んできたところ。本日も忌憚のないご意見を聞かせいただき、引き続き改善に向け努力していきたいので、宜しく願います。



施工企画調整室
土屋室長

3. 2024 問題と適切な工期の確保【部会長、豊国工業】

実施設計と現場条件との差異がある工事の増大、無理な工期設定や工程の遅延、事故繰越の発生などの厳しい環境にある工事が少なくないなかで、4月からは時間外労働の罰則付き上限規制も始まる。令和6年度の工事発注では、最重要課題である「適切な工期の確保」を旨として現場指導を進めて欲しい。



豊国工業 堀内

積雪寒冷地における除雪作業の取扱いも課題となっている。出水リスク等もあるので、余裕をもたせた工期設定をお願いします。国債工事で継続中の案件に対しても、周知して欲しい。

【農林水産省】2024年問題にあたり、昨年11月に適切な工期の確保に向け指導文書を発出した。工事円滑化会議の開催を契約直後（施工条件確認会議）と施工中（工程確認会議）の計2回開催することを通じ、適切な工期の確保を徹底していく方針である。なお、関係文書は、ホームページに掲載している。

（注）農林水産省 設計・施工・入札等

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/sekkei/>

（注）「工事の施工効率向上対策—公共工物品質確保の取組—」令和5年11月施工企画調整室（パワーポイント資料）

4. 簡易Ⅱ型（企業実績重視型）の運用【西田鉄工】

不調不落が発生していない農政局契約の除塵設備工事に簡易Ⅱ型（企業実績重視型）を適用している例があるので、通常型により地域貢献活動を評価することと、企業実績重視型による不調不落対策に取り組むことのバランスのよ



西田鉄工 福田

い取組をお願いしたい。

【農林水産省】不調不落が増えており、企業実績重視型が増大しているところ。一方、地域貢献活動の評価も重要。バランスよく運用するよう指導していく。

5. 除塵設備工事における入札参加要件の運用 【西田鉄工】

除塵設備工事の入札参加資格について、技術者不足を踏まえ、「機械器具設置工事」または「鋼構造物工事」とする運用を再度周知徹底願いたい。
【農林水産省】 そのように再度徹底していきたい。

6. 施設機械工事において概略工程表の参考提示 【丸島アクアシステム】

入札公告時に提示される概略工程表について、土木工事の標準例に加え、施設機械工事についても、その特徴に留意した標準例の作成公表をお願いする。



【農林水産省】 施設機械工事等の品質確保等に関する留意事項について昨年12月に既に指導文書を発出しているので、現場に周知していく。

丸島アクア 渡邊

(注)「施設機械工事の品質確保等に関する留意事項について」(令和5年12月27日付け農村振興局設計課課長補佐(積算基準班)(施工基準班)連名から各地方農政局農村振興部設計課課長補佐(土木技術)(施設機械担当)連名あて事務連絡)

7. 週休二日制の不履行の取扱い 【日立造船】

発注者指示を原因とする週休二日制不履行に関し減点・減額措置を適用しないとする現場指導の徹底をお願いする。



日立造船 山本

【農林水産省】 その旨、再度指導を徹底していく。不適切な例がある場合には、協会を通じ連絡して欲しい。

8. 据付間接費算定方法の改善 【開成工業】

施設機械設備据付工事の据付間接費は、既設備の撤去工事、水中工事、電気設備工事、その他の仮設備工事等には計上されないことから、現場実態に合わせて適切に計上されるよう見直しをお願いする。



開成工業 松元

同様の主旨で、諸経費動向調査における取扱いも改善するようお願いする。

【農林水産省】 据付間接費は、諸経費動向調査に基づき、現場実態に基づき適切に率計上しており、今後も適切に運用していきたい。また諸経費動向調査については、現場の実態が適切に反映されるよう、必要に応じ見直ししてまいりたい。

なお、水中工事、電気設備工事等にかかる現場経費等の管理運営費用は、共通仮設費及び現場管理費に計上している。また、据付工事を含まない工事においては、現場代理人等の現場を



施工室 上條補佐

管理する管理運営経費は、諸経費動向調査で現場管理費に含まれているため、計上していることとなる。いずれにしても、国交省とも調整しつつ適切に対応していきたい。

【西田鉄工】 現場に即した計算方法に見直すにしても、反映されるまでには2年程度かかること、土木工事ではどのような工事でも直接工事費全体を対象として現場従業員の手当てを含む現場管理費を算出しており、



西田鉄工 圓山

そもそも現場監督者の経費を一部しか見ない工事積算でよいの

かという疑問があること、に留意して欲しい。

9. インフレスライドの適切かつ統一的運用

【IHI インフラ建設】

農水省においても、インフレスライドの運用マニュアルを作成するなど、各農政局における適切かつ統一的な運用の促進をお願いする。



IHI インフラ 阪田

【農林水産省】 農水省においても、平成26年に作成した運用マニュアルで指導しており、改めて周知をしてみたい。

(注) 「「賃金等の変動に対する工事請負契約書第25条第6項(インフレスライド条項)運用マニュアル(暫定版)」について」(平成26年3月5日付け農村振興局設計課課長補佐(積算基準班)(施工基準班)ほか関係各局関係補佐連名から地方農政局総務部会計課長・整備部設計課長ほかあて通知)

10. 工事評価の改善【開成工業】

施設機械設備の整備、改修、補修工事について、優良な工事管理が工事内容に則して適正に評価されるようお願いする。優良工事等の表彰区分を「土木工事」と「施設機械設備工事」を区分する運用をお願いする。

【農林水産省】 成績評定は、公平適正に行われており、引き続きそのように指導していく。施

設機械工事については、令和4年度には5農政局で、令和5年度には6農政局で表彰されているところ、表彰選定段階で施設機械工事も適切に評価している。

11. 災害協力活動の促進【部会長】

能登半島地震被災地における災害協力活動に関し、その協力の枠組みや工事入札案件に係る加点評価、請負工事の成績評価などを、改めてご教示願う。

【農林水産省】 各社の災害協力活動については、北陸農政局と一般社団法人農業土木事業協会との災害協力協定に基づき、協力を求めるものであり、農政局との請負契約となる。関係工事の入札参加に当たっては、災害協力活動は地域貢献活動のうちの農村地域防災活動として評価され、また工事の成績評価においては、災害活動を評価できることとなっており、その旨評価される。

【JFE エンジニアリング】 被災地にどのような施設があるのか把握するため、現在一部施設で公開されている水利施設のデータベースの公開対象を広げてもらえると、災害発生時の初期対応にも有効となるのではないかと、



JFE エンジ 佐藤

【農林水産省】 既存のデータベースの公開の加速化について、ご提案があった旨、担当に伝える。